

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	やすらぎのある安全・安心な都市公園づくり事業										
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)					交付対象	秋田市、大館市				
計画の目標	秋田県内の都市公園は、施設の老朽化が進んでおり、安全で安心な施設の提供が十分に出来ず、利用者に対するサービス低下が問題となってきた。 このような状況を改善するため、ライフサイクルコストの縮減効果を含んだ維持管理計画、改修計画を作成し、これを基に、施設の改築、更新を適宜すすめていくことにより、県民が満足して利用する公園を整備・管理していく。 さらに、公園内の環境美化にも考慮し、利用者へやすらぎと潤いのある、いこいの空間を創造する。										
計画の成果目標（定量的指標）	・公園施設の拡充・更新により、利用者へのサービス向上が図られることから、県内都市公園の県民利用率（県内都市公園総利用者数 / 県人口）を160%から165%に増加させる。 ・長寿命化計画策定後に行う施設の改築・更新に伴い、公園施設の安全回復率を増加させ、利用者へ安全・安心を提供する。										
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
	事業対象となっている県内都市公園の年間利用者数を測定し、県民利用率（県内都市公園総利用者数 / 県人口）を算出する。							160%	162%	165%	
	利用者測定している公園に限る（県立の3公園、千秋公園、大森山公園、能代河畔公園、赤坂総合公園の計7公園） 平成26年度までに、秋田市内15箇所において温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備を行い、秋田市における温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量を1.4haとする。							0.2ha	0.8ha	1.4ha	
全体事業費	合計 (A + B + C)	63百万円	A	19百万円	B	0百万円	C	44百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	69.8%	

事後評価		
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	平成28年度
各事業主体の評価を秋田県建設部都市計画課で取りまとめた。	公表の方法	事業主体ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	吸収源対策公園緑地事業(楢山・牛島地区)	牛島第一街区公園等の植栽、広場整備等	秋田市						19	
									合計					19	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）							
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	施設整備	一般	大館市	直接	大館市	古片山下街区公園整備事業	街区公園整備 A=0.3ha	大館市						44		
														合計	44	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	安全安心事業(2-A'-14)による施設の改築更新、バリアフリー化に合わせて、大館市緑の基本計画に位置づけられ、地元から要望のある街区公園の整備を行い、地域住民にやすらぎや潤いを提供できる空間を創出することにより、満足度及び公園利用率の向上を図る。															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	安全安心事業(2-A'-14)による施設の改築更新、バリアフリー化に合わせて、大館市緑の基本計画に位置づけられ、地元から要望のある街区公園の整備を行い、地域住民にやすらぎや潤いを提供できる空間を創出することにより、満足度及び公園利用率の向上を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		計画的な温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備が実現可能となった。				
定量的指標の達成状況	指標（県民利用率）	最終目標値	165	%	目標値と実績値に差が出た要因	公園整備が進んだことによる。
		最終実績値	166	%		
	指標（温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地面積）	最終目標値	1.4	ha	目標値と実績値に差が出た要因	労務単価の上昇等により、計画予算内での施工実績が伸びなかった。また、市民の安全確保のために公園の防災機能強化を図り、別計画の公園整備を優先したことによる。
		最終実績値	0.47	ha		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		市民の満足度が増加した。				

3. 特記事項（今後の方針等）
温室効果ガスの効果的な吸収に資するため、公園植栽等の緑化対策を継続的に実施する。

参考図面

☐ …社会資本整備総合交付金
☐ …防災・安全社会資本整備交付

[illegible]

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称		やすらぎのある安全・安心な都市公園づくり事業（防災・安全）													
計画の期間		平成22年度 ～ 平成26年度 （5年間）					交付対象		秋田県、秋田市、能代市、横手市、大館市、鹿角市、由利本荘市、仙北市、五城目町、男鹿市						
計画の目標															
秋田県内の都市公園は、施設の老朽化が進んでおり、安全で安心な施設の提供が十分に出来ず、利用者に対するサービス低下が問題となってきた。 このような状況を改善するため、ライフサイクルコストの縮減効果を含んだ維持管理計画、改修計画を作成し、これを基に、施設の改築、更新を適宜すすめていくことにより、県民が満足して利用する公園を整備・管理していく。さらに、公園内の環境美化にも考慮し、利用者へやすらぎと潤いのある、いこいの空間を創造する。															
計画の成果目標（定量的指標）															
・公園施設の拡充・更新により、利用者へのサービス向上が図られることから、県内都市公園の県民利用率（県内都市公園総利用者数／県人口）を160％から165％に増加させる。 ・平成26年度までに、197箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新を行い、改築・更新した公園施設の割合を0％から20％にする。 ・平成26年度までに、46箇所において公園施設のバリアフリー化を行い、バリアフリー化した公園施設の割合を0％から20％にする。 ・平成26年度までに、大館市桂城公園1箇所において公園施設の耐震改修を行い、耐震改修した公園施設の割合を0％から100％にする。															
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考				
								当初現況値 （H22当初）	中間目標値 （H24末）	最終目標値 （H26末）					
		事業対象となっている県内都市公園の年間利用者数を測定し、県民利用率（県内都市公園総利用者数／県人口）を算出する。 利用者測定している公園に限る（県立の3公園、千秋公園、大森山公園、能代河畔公園、赤坂総合公園の計7公園）						160%	162%	165%					
		既存公園施設を改築・更新した件数の率（改築・更新した公園施設数／対象施設数）を算出する。						0%	10%	20%					
		既存公園施設をバリアフリー化した件数の率（バリアフリー化した公園施設数／対象施設数）を算出する。						0%	10%	20%					
		既存公園施設を耐震改修した件数の率（耐震改修した公園施設数／対象施設数）を算出する。						0%	50%	100%					
全体事業費		合計 （A＋B＋C）	3,675百万円	A	3,278百万円	B	0百万円	C	397百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	10.8%				
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期		平成28年度						
各事業主体の評価を秋田県建設部都市計画課で取りまとめた。							公表の方法		事業主体ホームページで公表						
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
2-A-1	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	秋田県公園施設長寿命化計画策定事業	県立3公園、長寿命化計画策定	秋田市、北秋田市	H22	H23	H24	H25	H26	18	
2-A-2	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	秋田県安全・安心対策緊急総合支援事業	小泉潟公園等3箇所における園路、管理施設、運動施設、修景施設、遊戯施設、便益施設の改築・更新、小泉潟公園等3箇所における管理施設、便益施設のバリアフリー化等	秋田市、北秋田市						580	H24当初： 地域自主
2-A-3	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	都市公園事業（県立中央公園）	施設改修、公園施設環境整備等	秋田市						26	
2-A-4	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	都市公園事業（千秋公園）	園路整備、のり面保護等	秋田市						221	
2-A-5	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	緑化重点地区整備事業（新屋駅周辺地区）	基盤整備、施設バリアフリー化	秋田市						368	
2-A-6	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	秋田市安全・安心対策緊急総合支援事業	ポプラ団地街区公園等287箇所における遊戯施設の改築・更新、保戸野街区公園等11箇所の園路広場、休養施設、便益施設等のバリアフリー化等	秋田市						276	

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-A-7	公園	一般	能代市	直接	能代市	都市公園事業（能代河畔公園）	園路、広場等 1.0ha	能代市						97	
2-A-8	公園	一般	横手市	直接	横手市	都市公園事業（赤坂総合公園）	広場、駐車場整備等 A=0.4ha 他	横手市						112	
2-A-9	公園	一般	横手市	直接	横手市	横手市安全・安心対策緊急総合支援事業	真人公園等9箇所における園路、駐車場、便所のバリアフリー化、横手公園等34箇所における遊戯施設の改築更新等	横手市						151	
2-A-10	公園	一般	横手市	直接	横手市	横手市長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	横手市						8	
2-A-11	公園	一般	鹿角市	直接	鹿角市	鹿角市安全・安心対策緊急総合支援事業	桜山地区公園等24箇所における遊戯施設の改築・更新 等	鹿角市						120	
2-A-12	公園	一般	由利本荘市	直接	由利本荘市	由利本荘市安全・安心対策緊急総合支援事業	本荘公園等19箇所における管理施設の改築・更新及び便益施設のバリアフリー化 等	由利本荘市						274	
2-A-13	公園	一般	仙北市	直接	仙北市	仙北市安全・安心対策緊急総合支援事業	生保内公園1箇所における運動施設の改築・更新	仙北市				=====		178	
2-A-14	公園	一般	大館市	直接	大館市	大館市安全・安心対策緊急総合支援事業	桂城公園等14箇所における公園施設の改築・更新、桂城公園における歩道橋の耐震改修、有浦児童公園における便所のバリアフリー化 等	大館市						215	
2-A-15	公園	一般	五城目町	直接	五城目町	五城目町長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	五城目町						2	
2-A-16	公園	一般	男鹿市	直接	男鹿市	男鹿市長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	男鹿市						6	
2-A-17	公園	一般	能代市	直接	能代市	能代市公園事業特定計画調査	緑の基本計画策定	能代市						5	
2-A-18	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	都市公園事業（大森山公園）	休憩施設、園路、水道施設整備等	秋田市						346	
2-A-19	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	秋田市長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	秋田市						6	
2-A-20	公園	一般	横手市	直接	横手市	都市公園事業（横手公園）	駐車場整備等 A=0.2ha 他	横手市				=====		2	
2-A-21	公園	一般	五城目町	直接	五城目町	五城目町安全・安心対策緊急総合支援事業	戸村堰緑道等4箇所における園路・便益施設の改築・更新 等	五城目町						21	
2-A-22	公園	一般	秋田県	直接	秋田県	秋田県公園施設長寿命化対策支援事業	小泉潟公園等3箇所における運動施設、修景施設の改築・更新 等	秋田市、北秋田市						160	
2-A-23	公園	一般	秋田市	直接	秋田市	秋田市公園施設長寿命化対策支援事業	太平山リゾート公園における運動施設内の設備改築・更新 等	秋田市						27	
2-A-24	公園	一般	横手市	直接	横手市	横手市公園施設長寿命化対策支援事業	記念公園等11箇所における遊戯施設、休養施設、管理施設、便益施設の改築・更新等	横手市						30	
2-A-25	公園	一般	大館市	直接	大館市	大館市公園施設長寿命化対策支援事業	中道南児童公園等2箇所における遊戯施設、園路・広場の改築・更新 等	大館市						28	
2-A-26	公園	一般	由利本荘市	直接	由利本荘市	由利本荘市長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	由利本荘市						1	
合計													3,278		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-C-1	施設整備	一般	秋田県	直接	秋田県	北欧の杜公園設備拡充事業	キャンプ場設備の改築	北秋田市						36	
2-C-2	施設整備	一般	秋田県	直接	秋田県	中央公園設備拡充事業	スポーツ施設等の改築	秋田市						156	
2-C-3	施設整備	一般	秋田市	直接	秋田市	大森山公園動物舎改築改修事業	動物舎改築等	秋田市						118	
2-C-5	施設整備	一般	横手市	直接	横手市	真人公園施設改修事業	アスレチック遊具改修等	横手市						8	
2-C-6	施設整備	一般	横手市	直接	横手市	横手公園利用促進調査	アンケート調査・分析、ワークショップ 開催等	横手市						18	
2-C-7	施設整備	一般	秋田市	直接	秋田市	千秋公園整備事業	案内板整備	秋田市						7	
2-C-8	施設整備	一般	能代市	直接	能代市	公園便益施設整備事業	便所水洗化	能代市						54	
													合計	397	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
2-C-1	安全安心事業(2-A-2)による施設の改築更新に合わせて、キャンプ場設備を改築することにより、利用者の安全確保とともに公園自体の魅力アップ及び公園利用の促進を図る。														
2-C-2	都市公園事業(2-A-3)及び長寿対策事業(2-A-22)に合わせて、県立中央公園スポーツ施設の設備を改築することにより、利用者の安全確保とともに公園自体の魅力アップ及び公園利用の促進を図る。														
2-C-3	大森山公園における都市公園事業(2-A-18)と、県を代表する余暇活動の場である同公園内の動物園施設を一体的に改築・改修することにより、公園全体の魅力アップ及び利用者の増加を図る。														
2-C-5	安全安心事業(2-A-9)による公園施設のバリアフリー化に合わせて、老朽化の著しいアスレチック遊具を改修し、利用者の安全確保とともに公園自体の魅力アップ及び利用者の増加を図る。														
2-C-6	横手公園における都市公園事業(2-A-20)の整備にあたり、公園利用状況調査や現存施設の価値を最大限に引き出すための検証等を行い事業実施に反映させることにより、公園の利用増進へつなげて行く。														
2-C-7	都市公園事業(2-A-4)に合わせて、公園施設案内板を設備することにより、利用者の安全確保とともに公園自体の魅力アップ及び公園利用の促進を図る。														
2-C-8	特定計画調査(2-A-17)により、能代市緑の基本計画に位置付けられた公園施設の整備をおこなうことにより、利用者に安全・安心で快適な公園施設を提供する。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		公園整備により都市公園の魅力が向上した。 施設の老朽設備を改築・更新したことにより、利用者への安全・安心なサービスの提供が可能となった。 健全度の把握やライフサイクルコストの縮減等を図ることができ、計画的な維持管理が可能となった。 公園施設のバリアフリー化を行い、車椅子利用者や視角障害者の方々にも利用出来る施設が増加した。				
定量的指標の達成状況	指標（県民利用率）	最終目標値	165	%	目標値と実績値に差が出た 要因	公園整備が進んだことによる。
		最終実績値	166	%		
	指標（改築・更新率）	最終目標値	20	%	目標値と実績値に差が出た 要因	交付金を活用した改築・更新と単独費による予防修繕により、計画的に施設の長寿命化を実施したが、労務単価の上昇等により計画予算に対して実績箇所数が伸びなかった。また、公園整備を優先した結果、目標へは届かな
		最終実績値	19	%		
	指標（バリアフリー化率）	最終目標値	20	%	目標値と実績値に差が出た 要因	労務単価の上昇等により計画予算に対して実績箇所数が伸びなかった。また、公園整備を優先した結果、目標へは届かなかった。
		最終実績値	15	%		
	指標（耐震改修率）	最終目標値	100	%	目標値と実績値に差が出た 要因	目標どおりであった。
		最終実績値	100	%		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		野球場施設更新を重点的に行ったことにより、プロ野球の試合が開催され、公園利用者の増加等に寄与する結果となった。				

3. 特記事項（今後の方針等） 日常点検、定期点検等により、公園施設の安全性を維持するとともに、ライフサイクルコスト縮減に努め、今後も公園施設長寿命化計画に基づき施設の維持・修繕・更新を効率的かつ効果的に実施していく。

社会資本総合整備計画（都市公園） 参考図面

... 社会資本整備総合交付金
... 防災・安全社会資本整備交付

